

# 平成24年度 在宅医療連携拠点事業成果報告会

福島県

しらかわ在宅医療拠点センター  
(NPO法人しらかわ市民活動支援会)

## NPO法人しらかわ市民活動支援会10年間の地域づくり活動

294 (ふ・く・し) 委員会	障がい者を自立させ街に出そう！
在宅あんしんネット委員会	連携往診医による独居老人の看取り不安を解消（580名登録）
しらかわ救急情報センター	日曜祝日の救急医療の電話相談案内
みんなの交通システム研究会	高齢者、障がい者の送迎や緊急時の対応
おひさまひろば	子育て支援
ボランティア養成講座	病院ボランティア、障がい者支援活動
市民活動団体の支援	NPO申請、ホームページ作成の補助

地域包括ケアシステムの基盤

## 拠点事業のスタッフ

在宅療養支援診療所	医師
医療ソーシャルワーカー	社会福祉士
ケアマネの資格	看護師
	看護師
	看護師
	看護師
拠点センター	事務長
	事務員
	事務員
顧問ボランティア	薬剤師



在宅医療・介護の課題	活動計画
在宅医療に対する認識不足	行政と医師会に住民への啓蒙活動を促す
退院後の在宅医と勤務医との連携不足	拠点に医師会主導による、まちなか連携室を設置する（ITも活用）
在宅医の高齢化と若手の台頭不足	往診、訪問診療の経験のない若手医師への啓蒙
訪問看護師不足とステーション同士の連携が十分にできていない	公的訪問看護ステーションからサテライト事業所を設置し連携強化を図る
訪問領域が広く計画がたてにくい	訪問する遠隔領域についての調整を図る
訪問看護ステーションの経営が不安定	通院困難な高齢者への訪問健診事業を定期的に行う
急変時の対応が困難	急変時、緊急ショートステイを利用できるようにする

	計画した内容	実際に行った取組
1	多職種連携の会合設定	地域医療連携会議 在宅医と訪問看護師の交流会 ストーマ認定看護師による実演
2	在宅医療従事者の負担軽減の支援	在宅療養支援診療所への訪問看護師派遣 訪問看護ステーション同士を連携させた ケアマネからの相談支援
3	効率的な医療提供のための多職種連携	電話相談案内、医療・福祉連携ガイド作成
4	地域住民への普及啓発	新聞、広報紙、ホームページ、講演会
5	人材育成	リーダー研修会 (県医師会と多職種)

	計画した内容	得られた効果
1	多職種連携の会合設定	顔の見える関係づくりができた 地域医療対策協議会を市に立ち上げさせた
2	在宅医療従事者の負担軽減の支援	看護師派遣により在宅療養支援診療所への情報提供が円滑にできた ケアマネからの相談に対応できた
3	効率的な医療提供のための多職種連携	終末期医療について一般住民からの相談にのり適切な対応ができた
4	地域住民への普及啓発	一般住民対象への講演会により在宅医療の普及、啓発が得られた
5	人材育成	郡市医師会担当理事へのリーダー研修で各地域へ普及させた 多職種への研修では、チーム医療としてかなりの効果を得た

## 特徴的な取組み、先進的な取組み

在宅医9名と訪問看護師との交流会を設定して信頼関係を深められた

訪問看護ステーション同士の交流会を設定し、連携する仕組みができた

各包括支援センター同士の交流会を設定し、問題解決に取り組んだ

医療・介護事業者に加え障害者の事業所もすべて訪問し連携ガイドブックを作成した

地域交通システムの先進地を訪問し、地元での送迎システムを研究した

うまくいかなかった点

効果的な活動にするためのポイント

NPOとして行政と交渉すること  
に限界を感じた

医師会主導で積極的に市町村と話し  
合い支援を求める

行政は予算の裏付けがないと動こう  
としない

行政のトップに話が届くように要請す  
る

事業の継続性が不明なため、  
スタッフの確保が遅れた

国から県、県から市町村への事業説明  
を迅速にする

I Tを利用できなかった

十分な予算が必要

病院勤務医への事業説明が不足して  
いた

在宅医が退院時のカンファランスに  
出席し直接勤務医からの情報を得る

若手開業医への普及

訪問健診事業に従事させる